

# 見せませす！基板の新たな可能性

「JPCA Show 2023」主催者テーマ展示

<下>

前号に引き続き、5月

31日～6月2日に東京ビッグサイトで開催される

「JPCA Show 2023」

(主催)日本電子回路工業会)における

「基板の新たな可能性を探る」をコンセプトとした主催者テーマ展示への出展企業と出展内容を紹介する。

## 奥野製薬工業

### 高密度で高生産性 ガラス用銅めっき

奥野製薬工業(株)(大阪市中心区)は、ガラス基板用の無電解銅めっきプロセス「PLOPX」を紹介する。2022年に続く出展で、今回は絶縁信頼性評価のデータも公開し、実用性をアピール

する。

パナソニック環境エンジニアリング(株)と共同開発したもので、金属フッ化物錯体溶液にフッ化物イオン捕捉剤を添加して基板を浸漬させ、酸化物を基板上に均一に成膜する「液相析出法」を用いたもの。平滑性に優れ、銅めっきで回路形成しても伝送損失に影響しない。また強い密着性を持ちながらガラス基板の電気特性を損なわず、耐熱性にも優れている。すべて溶液中で完結するのでスルーホールやビアホール内に均一処理でき、生産性にも優れる。競合技術のTi-Cuスパッタと比べ、高強度とコストメリットを実現した。

22年の出展では第18回JPCA賞を受賞した。

高速通信やガラスインターポーザー用に多数の引き合いを得ており、試作や評価用のサンプル提供を行っている。今後は量産化に向けた開発を行うほか、セラミックなど異種材料との密着ニーズにも対応を目指す方針だ。